

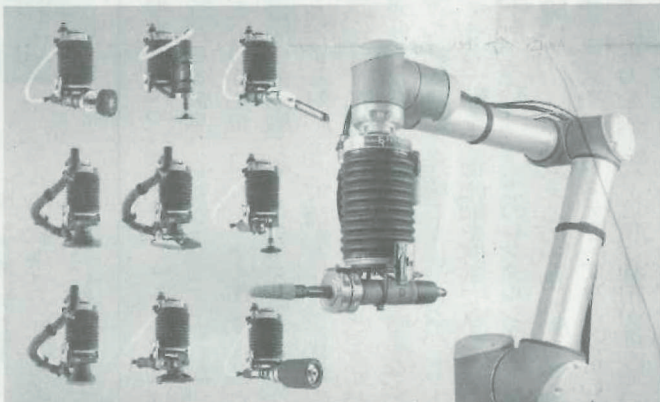
協働ロボでバリ取り・研磨を 「ヒトの感覚」を持つハンド

柳瀬

自動化提案 3

研磨・バリ取りのスペシャリスト柳瀬は、研磨材メーカーとして長年培ったノウハウをベースに、産業用ロボットを活用した様々なバリ取り・研磨ソリューションを提案している。

なかでも画期的なのが、協働ロボットに取り付け可能な空圧ハンドを活用した削り、磨き、研磨、バリ取りなどの手作業の自動化提案だ。オーストリアのロボットハンドメーカー・ファアロボティクスの空圧ハンドは独



ファアロボティクスの空圧ハンド

自の「アクティブ・コンプライアント・テクノロジー(ACT)」を搭載。同技術は対象ワークに合わせて角度や押し付け力を自動補正するもので、難しいプログラミングを必要とせずに、ロボットによる研磨・研削を文字通り「ヒトの感覚」で行うことができる。

柳瀬ではこの空圧ハンドを多様な作業に合わせたパッケージングとして販売。研磨には5インチ、6インチのダブルアクションサッターを搭載したキットや、同社の様々な研磨材を活用したダイグラインダーキットを用意。バリ取りには細かい作業や狭小部にも対応可能な小型ベルトサッターを搭載したキットなど、多彩なラインナップを用意している。

「ファアロボティクスのハンドは協働ロボットでお馴染みのユニバーサルロボットの認証を受けた『UR+』製品ですので、ロボットに取り付けてすぐに活用できます」(同社)